

校長室から

折り鶴プロジェクト

校長先生からのお案内
令和元年 大明小学校 児童ボランティア募集

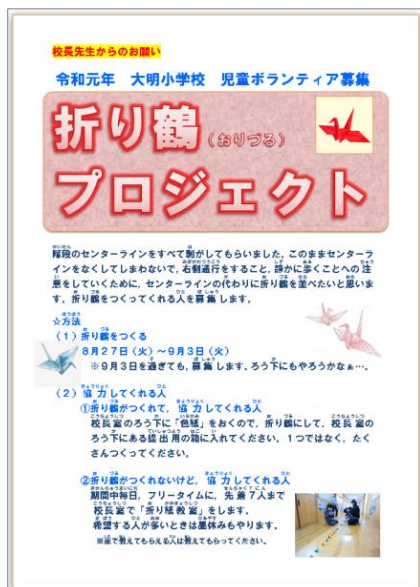
折り鶴 (おひづる) プロジェクト

階段のセンターラインをすべて剥がしてもらいました。このままセンターラインをなくしてしまわないで、右側通行をすること、殊に歩くことへの注意をしていくために、センターラインの代わりに折り鶴を並べたいと思います。折り鶴をつくってくれる人を募集します。

① 折り鶴をつくる
8月27日(火)～9月3日(火)
※9月3日を過ぎても、募集します。ろう下にもやろうかな...

② 並方してくれる人
① 折り鶴がつくれて、並方してくれる人
校長室のろう下に「色紙」をおくので、折り鶴にして、校長室のろう下にある並出用の箱に入れてください。1つではなく、たくさんつくってください。

② 折り鶴がつくれなくても、並方してくれる人
期間中毎日、フリータイムに、先着7人まで校長室で「折り鶴教室」をします。
希望する人が多いときは団体でもやります。
※並方してもらえない人は撤去してもらって構いません。



プロジェクトというほど大きなものではないのですが、子どもたちがボランティアとして参加する企画を考えました。ボランティアですので、やってくれるという子が参加すればいいわけで、参加しなければいけないというものではありません。参加しなかったからといって、非難されることがないのがボランティアです。

本校の階段には、1階から3階までセンターラインとして赤いテープが貼ってありました。何年前に貼ったものかわかりませんが、劣化し、剥がれかけていたり、切れたところを継ぎ足してあったりしていて、きれいにしたいなあと思っていました。1学期の6年生の家庭科「クリーン大作戦」の学習で、学校をきれいにしようという取り組みをしたところ、6年生からも階段のセンターラインを剥がしてきれいにしたいという意見が出たとのことでした。

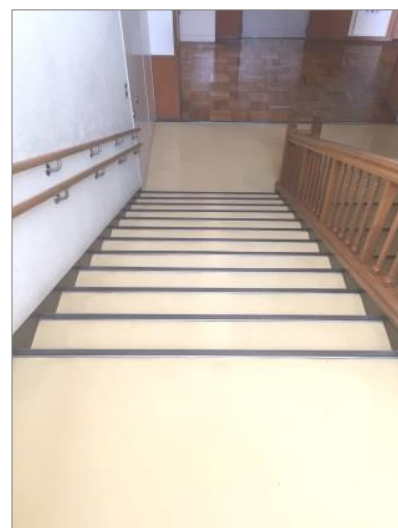
4月より、玄関などのガラスに貼られていた掲示物を整理し、セロハンテープやガムテープの跡もクリーナーを使って落とし、きれいにできてきているつもりです。しかし、長年のテープ跡などはなかなか落とせず苦労しています。

階段のセンターラインを剥がすのには、そのテープの量が多く、クリーナーをどれだけ使うことになるのか見当もつきませんでした。また、クリーナーなどを使わずに剥がすと、階段にテープの粘着部分が残し、そこにホコリがついて、返って汚くなることも考えられ、なかなか手を出せずにいました。

毎年、夏休みには清掃業者が入り、床の清掃やワックスがけをしてもらっています。その打ち合わせに業者が来たときに、階段のセンターラインを何とかできないかと相談したところ、専用の溶剤があるので、きれいにできるという答えをもらいましたので、お願いしました。さすが、プロの技です。とてもきれいにしてくれました。

このままのラインがない状態でも、子どもたちが右側通行をして、静かに階段を上り下りできればいいのですが、1学期には、集団で下る学年と上る学年が交錯してケガをする子がいましたので、まだ本校にはセンターラインが必要です。専用のテープを使ってセンターラインを新たにつくる方法もありますが、子どもたちに折り鶴をつくってもらい、それを並べてラインの代わりにすることを考えました。

子どもたち自身がつくった折り鶴を並べることで、階段や廊下の「右側を静かに歩く」ことを自分たちで意識できると考えています。



【取り組み方法】

☆折り鶴の作成期間 8月27日(火)～9月3日(火)

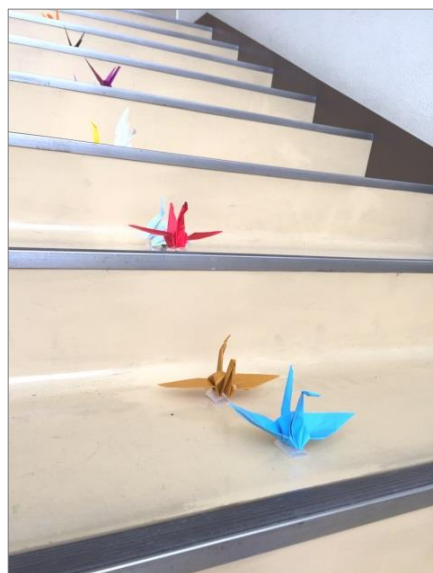
○折り鶴がつくれ、協力してくれる子は、校長室廊下置いてある色紙を折り鶴にして、校長室廊下にある提出用の箱に入れる。

○折り鶴がつくれなくても、協力したいという子には、期間中毎日、フリータイムに、先着7人まで、校長室にて折り鶴をつくる「折り紙教室」を開催するので、そこで折り方を覚えてつくる。

フリータイムの校長室での「折り紙教室」の様子です。鶴が折れないという子は意外なほど多くいます。



プロジェクト開始3日にして、並べきれないほど集まりましたので、階段を中心に並べてみました。



特に、折り鶴をつくってくれた子は、踏まないように歩いているように見えます。まだまだつくってくれている子がいますので、特別館の階段や全廊下へも広げていきたいと思っています。来週から運動会特別日課が始まります。その邪魔をしてはいけないので、運動会が終わったら、子どもたちに、廊下に折り鶴を並べてくれるボランティアを募集しようかな…なんて思っています。